

広く社会に貢献する企業であるために、 ステークホルダーの期待を理解し信頼に応えています。

M担当役員からのメッセージ



執行役員

桑本 由紀浩

UACJは2018年に、誕生から5年を迎えますが、その間に北米やタイを中心に新拠点の立ち上げやM&Aなどを行ってきたなかで、人材の多様化が進展しています。そうしたことに加え、技能伝承や日本国内で本格化しつつある働き方改革などが課題として浮上り、働く環境の整備が取り組みテーマとして重要になってきています。

それに対しUACJは、新たに2つの推進プロジェクトをスタートさせました。ひとつは働き方改革推進プロジェクト「PJ 888」です。仕事・家庭・休息の時間のバランスを図りながら仕事の成果を出すことを目的に、ほとんどの部門を対象にしています。もうひとつが「UACJウェイ」の推進プロジェクトです。これはありたい姿を実現するために一人ひとりが大切にすべき行動理念をこのUACJウェイにまとめ、浸透させることでグループの一体感の醸成につなげていきたいと考えています。こうしたことで働く人はもとより、多くのステークホルダーの期待に応えられる会社にしていきたいと思っています。

お客様に向けた取り組み

厳密な品質管理

UACJは、「お客様の満足と信頼を得る製品とサービスの提供に努める」ことを掲げる品質基本方針のもと、年度ごとにグループ統一の品質管理方針を策定。あわせて品質目標や、取り組むべき重点課題を明確にしています。

これらの方針・目標のもと、グループ一丸となって品質向上に取り組むため、事業セグメントごとに設置した品質管理組織と、グループ全体の品質管理を担う技術部とが連携することになっています。

また、各拠点では、熟練のスタッフが最新鋭の試験・検査機器を用いて、厳格に検査しています。



安定供給体制の確立

UACJは、大規模地震や新型インフルエンザなどにより、各拠点で重大な被害が発生した場合でも、安定供給を維持することが企業の重要な社会的責任だと認識しています。被害に際しても製品やサービスの供給を継続、あるいは早期に供給を再開できるよう、事業継続計画(BCP)を整備しています。

この計画に基づき、二次災害を防いで被害の軽減を図るとともに、速やかに復旧に取り組む体制を整備しています。具体的には、緊急連絡網や従業員安否確認システムを活用し、被災した事業所の現状を迅速かつ正確に把握することで、適切に支援・救援する体制を整えています。

また、品質面で重大な不具合が生じた際には、グループ統一の判断基準に則り、グループ内で情報を共有し、迅速に対処するようにしています。またこうした情報を活かして、類似事故の発生防止に努めています。



顧客満足度向上

UACJは、経営理念や品質基本方針に掲げるように、「顧客満足」を重要な品質と捉えています。こうした考えのもと、顧客満足度調査を定期的の実施するとともに、お客様との交流会などで得られた情報を品質改善に活かしています。

また、ウェブサイト上に「お問い合わせコーナー」を設けて、商品の注文や資料請求はもちろん、技術的な相談などにも迅速かつ的確に対応しています。お問い合わせ件数は、年間約200件に達しており、うち2～3割は海外からとなっています。

今後お客様との交流をいっそう深めて、品質の改善や新製品の開発などにつなげていきます。



従業員を支える取り組み

ダイバーシティの推進

グローバル展開の加速にともない、さまざまな国籍や文化、言語の従業員がグループの一員となるなか、多様な価値観を互いに認め合い、持てる能力を発揮できる環境整備を進めています。

また、UACJグループとして「仕事や日常のあらゆる局面で大切にしたい行動」の理念や原則をまとめた「UACJウェイ」を整備し、世界中の拠点到浸透させていきます。

労働安全衛生の確保

国内主要4製造所では、労働安全衛生マネジメントシステムを導入・運用し、「危険ゼロ職場の実現」を到達目標に掲げて労働安全衛生活動を推進しています。また、従業員一人ひとりの安全意識を高めるため、階層別研修のなかで安全衛生に関する教育を実施しています。

こうした取り組みの結果、2017年度の労働災害発生件数は20件、休業度数率は0.76、総合度数率は1.39となりました。

TOPIC

業務生産性の革新を目指して 「働き方改革」推進プロジェクト始動

UACJは、業務生産性を革新するとともに、仕事を前向きに楽しめる職場づくりを目指す働き方改革推進プロジェクト「PJ 888」を2017年度からスタートしています。営業部門や管理部門、研究開発部門、さらには工場の間接部門も含め、全社・全職種が一丸となって取り組むプロジェクトです。

プロジェクト名は、24時間を「仕事:8、家庭・趣味・自己研鑽:8、休息:8」という最適なバランスにすることを意味しています。



プロジェクト主要メンバー

地域社会に向けた取り組み

UACJにとって、地域社会は事業を営むエリアであると同時に、従業員が暮らすエリアでもあります。こうした認識のもと、地域と共生する企業市民として、地域社会との良好な関係づくりに努めています。とりわけ、事業拠点があるエリアでは、従業員が地域イベントなどに積極的に参加するほか、教育などの支援、地域社会への奉仕活動などを行っています。

たとえば米国のTAAでは、義捐金を募る支援団体のイベントに協賛し、その慈善活動を支援しています。

